

# 美しい 県土づくりNEWS



2006 年

9月

岩手県県土整備部手づくり広報誌

美しい県土づくり NEWS 26 号

平成 18 年 9 月 5 日発行

編集 県土整備企画室

## 岩手の風景

### 花巻空港を飾るチャーター便（花巻市）

8 月 6 日に大韓航空のチャーター便が就航しました。スカイブルーの色鮮やかな機体です。韓国からいわて花巻空港へのチャーター便の乗り入れは、今回が初めて。今月には、台湾・中国からのチャーター便も就航し、今後ますます東アジアを中心とした海外からの観光客誘致に弾みがつくものと期待されています。



平成 17 年に岩手を訪れた外国人観光客は、88,983 人。

韓国からの観光客は、そのうち約 1 割の 8,211 人。平成 16 年に比べ、+136.8% と大幅に増えています。韓国からのお客様は、ゴルフやスキーを楽しむ方が多いそうです。

## 目次

- P 2 ● 今月の人 中野道路環境課総括課長
- P 3 ● 厳寒の爪あと 凍上災
- P 5 ● 地域の実情に応じた道路の整備 宮古市
- P 10 ● まちづくりの新しい芽  
～まちづくり支援事業がスタート～
- P 12 ● 公共工事コスト縮減対策の取り組み状況
- P 14 ● 道路百科第 3 回  
「道路にはどんな種類があるの？」
- P 15 ● インフォメーション  
下水道フェスタ スカイフェスタ他
- P 18 ● 身近な道路を考える  
～道路ふれあい月間記念行事～
- P 21 ● トピックス
- P 23 ● みんなの声





9月に入りましたが、まだまだ暑い日々が続いています。いつものこととはいえながらも、団扇の効果の大きさと体力の無いことを痛感しながら、何とかやり過ごしたいものと思っております。

皆様も、元気に酷暑を乗り越えられますようお祈り申し上げます。

最近、暑い時期になりますとちょっと気掛かりなことを思い出します。それは、平成14年の7月に災害救援ボランティアでH町へお手伝いに出向いた時のことです。晴天で暑い日でしたが、合羽を着ながら床上浸水した一民家の中に溜まった泥を排除することがその日の作業内容でした。県庁から参加した有志の皆さんは、全員各々の体力とその日作業量のペース配分を考えながらも、汗と泥にまみれ黙々と渾身の力を出して働いたと思いました。救援の成果はどの程度であったのか、今では本当のところを知る由もありませんが、午後3時の休憩時に出された冷たい飲物を、ご家族や親族の方々とボランティアのスタッフ全員で、心からの笑顔を浮かべながら飲み干した瞬間がすべてを表現していた様な気がします。

その日、体力のない私は、持参したおにぎりを摂った後頃から全く体が動かない状況になりました。(完全脱水?)そこで、力作業から押入れに潜り込んでの清掃作業に切替えて、単独で行動をしておりました。そのうち、押入れの奥から丁寧に梱包された泥まみれの紙製の菓子箱が出てきたのですが、大きさや重量感から、このままゴミ集積所へ運ぶべきではないと直感し、ほんの少し箱の蓋を開けて中を覗きました。中も泥水でひどく汚れていましたが、瞬時に写真を束ねた状態のアルバムであると分かりました。近くにいた家人らしき人に尋ね聞いて、多分アルバムの主ではないかと思われる初老のご婦人のところへ持参し、

「あの・・・・・・これ・・・・・・どうしますか・・・・・・」と聞きました。

(のぼせていて上手く会話が出来ない状態で適当な言葉が出てきませんでした。)

「もういいから・・・・・・捨ててでけ・・・・・・」とそのご婦人。

しつこく「いや・・・・その・・・・(大切な記録ですから)・・洗って乾かせばなんとかなります・・・・・・」

「家中こんなになって・・・・いいから・・・・(捨てて)」

「・・・・(写真があればいつまでも若い日の記憶が蘇ると思うのですが)・・・・」

(註：文中( )書きは発声できず。)

というやりとりの後、静かに引き下がり、少し整理のついた家中の場所を探し出し、別の家人が見つけること祈って、もう一度表面の泥を取り除きこっそり隅っこに置いて来ました。

菓子箱を少し開けて見てしまったこと、このことをどう説明してよいのか右往左往している自分、一回の洪水は、有無を言わせず大切な記録をもろとも消し去ること、記憶の強化や地域防災はどうすべきなのか等々、やりきれなさど歯がゆさで、何本も煙草を吸いながら夕刻帰宅いたしました。

このことは、そのほとんどが未整理のまゝいつもの夏を向かえるのですが、実験物理学者で文筆家、かつ愛煙家の寺田寅彦先生曰く「天災は忘れた頃にやってくる」を思い起こしながら、局地豪雨頻発の昨今、整理しきれない自分に向けて、「油断大敵、油断大敵」と反復復唱する次第であります。







## 厳寒の爪あと 凍上災 (とうじょうさい)

### 1 凍上災とは？

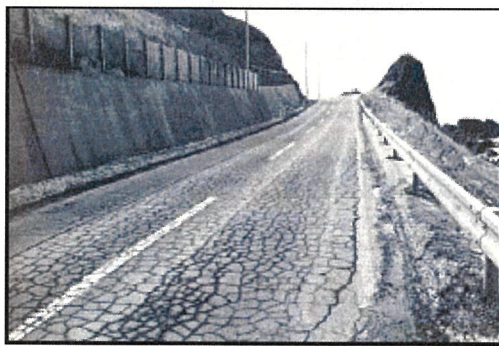
凍上災とは、厳しい寒さが原因で道路舗装面にひび割れなどが発生する災害です。  
(写真参照)

岩手県は、ここ 30 年で最も長く寒い冬に見舞われ、昨年 12 月には、月平均気温が歴代最低記録を更新し、1 月も平年より寒い状態が続きました。

2 月に入ってから平年並みに落ち着きましたが、県内の気象観測地点 33 地点のうち 30 地点では、この 3 ヶ月間に真冬日が平年の日数を超えました。また、盛岡では、真冬日が 36 日となり、盛岡気象台の観測史上 3 番目を記録する寒い冬になりました。

このため、国道をはじめ、県道、市町村道のいたるところで凍上による災害を起こし、舗装面には隆起やひび割れが発生しました。

凍上災が発生したことにより、道路舗装面に凹凸ができたり、ひび割れた舗装の一部がはがれるなど通行に支障をきたす恐れができました。



舗装面の亀甲状クラック



舗装面の盛り上がり、沈下

凍上現象による災害には、2 つの種類があります。

- 1 冬期の低温によって道路の地盤中に大きな霜柱が発生し地面が隆起することにより、道路面にひび割れなどが発生する被害。
- 2 春の融解期に起こる道路地盤の支持力低下により、道路舗装面に局部的な沈下と亀甲状のひび割れが発生する被害。

#### 凍上災の採択要件

今冬の低温により被害を受けた都道府県または市町村が管理する道路のうち、以下の要件を満たす箇所が災害復旧事業の対象となります。

- 1 被害のあった地域における今冬の凍結指数※1が、10 年確率凍結指数※2を超えていること。 ◆当県では、アメダス 33 観測地点のうち 16 観測地点が該当しました。
- 2 対象となる道路は、幅員が 2m 以上かつアスファルト厚 3cm 以上の舗装道路とする。

※1：日平均気温が 0℃以下の期間における日平均気温の累積で表した数値で舗装する厚さを決定する基礎資料となります。

※2：10 年確率凍結指数とは、10 年に一度起こるであろう凍結指数です。



## 2 凍上災の復旧作業

### ◆災害報告箇所数と被災額

各地方振興局及び市町村から提出された被災箇所の概要や写真資料等を取りまとめ、6月30日に国土交通省河川局防災課に災害報告を行いました。

- |         |               |
|---------|---------------|
| 1) 県工事分 | 454箇所、約 90億円  |
| 2) 市町村分 | 501箇所、約 89億円  |
| 3) 合計   | 955箇所、約 179億円 |



平成18年2月 盛岡市飛鳥



平成 18 年 2 月 大槌町金沢

### ◆9月から災害査定が始まります。

災害復旧作業は、国の負担で対応されるため、国土交通省と財務省からそれぞれ査定官、立会官が被災現地へ赴き、災害の状況を査定し、工事費が決定されます。

被災した道路の長さは、のべ約700kmで、測量、写真撮影、査定等は全て徒歩で行います。規模が大きいため、査定作業は、9月上旬から10月中旬までの間、職員が、8～9班体制で行います。

査定の作業中は、ドライバーの皆さんをはじめ、道路の通行上ご不便をおかけすることありますが、ご理解とご協力をお願いします。

査定作業が終了し、実際の復旧工事が始まるのは、11月頃からになります。

問い合わせ先

砂防災害課 TEL019-629-5921





## 地域の実情に応じた道路の整備

### 一般県道有芸田老線

#### 1 路線の概要

一般県道有芸田老線は、岩泉町有芸を起点とし、宮古市田老に至る延長 17.5 km の路線です。

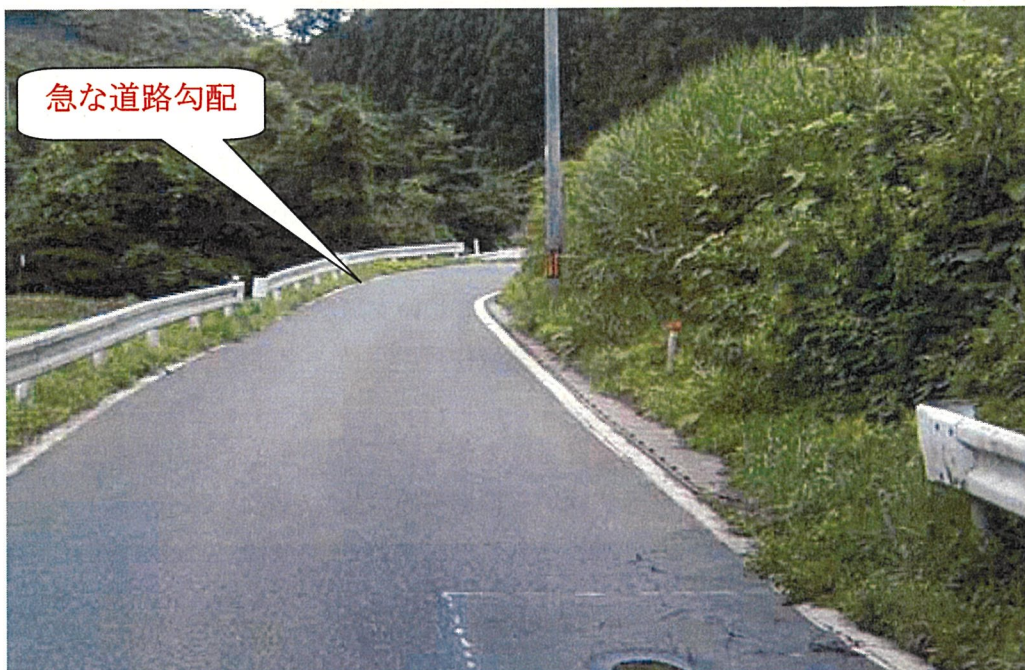
このうち、岩泉町境にある宮古市田老字末前地区から宮古市田老（国道 45 号）までを結ぶ区間は、地域における唯一の重要生活路線となっていますが、道路の未改良区間については、道路の幅も狭く（3.2m）、見通しも悪いことから通行に著しい支障が生じています。

このため、この区間の交通障害の解消を図り、地域住民の生活と交通安全を確保することが期待されています。

また、宮古市田老は幾度となく津波の被害を受けており、この路線は有事の際の緊急避難路としての機能ももっていることから、地元住民から早期整備が強く望まれています。







急な道路勾配



大型車との  
すれ違い困難



### 3 整備計画策定までの経過

整備計画策定にあたっては、現道の状況、問題点を把握し、道路管理者として必要な道路整備、日常の利用者の視点による整備要望について話し合い、地元住民の意見を反映した整備計画を策定するための懇談会を開催しました。

#### ① 整備方針懇談会の開催

対象 末前集落地域住民  
用地・補償等関係者

- ・山間部の未整備区間（1車線）について、ローカルルールを適用した1.5車線の整備手法により整備する趣旨を説明し、理解をいただくとともに、整備計画案について説明を行いました。
- ・懇談により現道の問題点について意見を出していただき、整備計画案に盛り込まれていない事項について、再度検討を行うこととして整備計画の基礎資料としました。  
（過去の落石の位置、急勾配・凍結危険箇所、視距不良箇所、事故多発箇所等）

#### ② 整備計画懇談会の開催

対象 末前集落地域住民  
用地・補償等関係者

- ・整備方針懇談会での要望事項を検討し、整備内容について一部見直しを行い、全体整備計画について説明を行いました。
- ・細部の修正はありましたが、整備計画について了承いただき、工事着手に向けた用地、補償交渉へ進みました。

#### ③ 事業実施

工事に必要な用地等の協力をいただき、工事着手の運びとなりました。  
計画延長 1,720mのうち、1,235mにおいて改良工事を実施します。





## 2 事業概要

今回整備を予定している区間は、その前後が2車線で整備されているものの、次の課題がありました。

- ① 山間部と河川に挟まれて狭いという地形条件にあり、2車線で計画すると新たに橋梁や擁壁等を作ることが必要となることから、工事費の増大、工事の長期化が避けられないこと。
- ② 山林、河川に囲まれた地域であることから、橋梁等の設置や山間部の掘削等は、自然環境に負荷がかかってしまうこと。

そこで、以上の条件も考慮しながら整備計画を整理し、

- ① 現在の道幅の広い箇所はそのまま有効に活用し、通行の支障となる箇所の改良  
(小型車のすれ違える道幅の確保、視界不良箇所の解消、急勾配箇所の緩和)
- ② 大型車とすれ違えるよう待避所の設置

を実施することにより、最小限の工事で早期に最大限の効果が発揮できる1.5車線の道路整備計画を導入することとしました。







#### 4 今年度の予定

用地買収等、工事着手の条件が整った区間から工事を始めます。

一部の用地買収、埋蔵文化財調査を早急に進め、平成 19 年度の完成を目指します。

問い合わせ先  
宮古地方振興局土木部  
TEL0193-64-2221



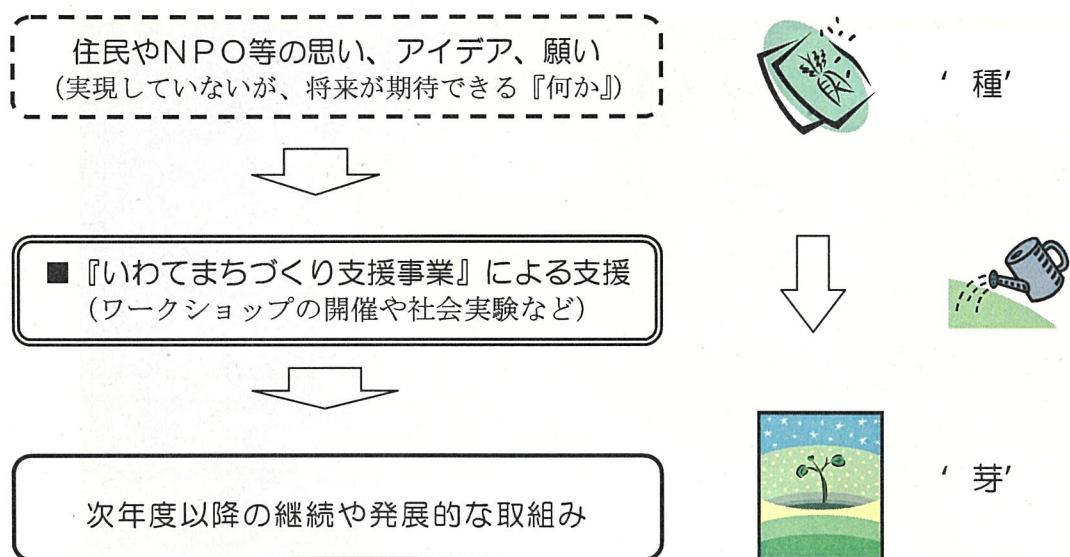
## まちづくりの新しい芽 いわてまちづくり支援事業がスタート

### 事業の趣旨

平成 17 年度から、地域がもっているまちづくりへの思いやアイデアを地域で実践するため、その試みとして自主的に取り組む活動に対して県が活動費用を支援する「いわてまちづくり支援事業」を始めています。これは、住民や NPO 等のまちづくりの‘種’を、次のステップの‘芽’に育てるための‘水’のようなものです。

具体的な事業の内容としては、下記のような観点から地域に根ざした活動を公募し、その実施を委託しております。

- 地域住民の支持や参加（地域コミュニティー）が得られる活動であること
- 自主的な活動への取り組みが期待できる活動であること
- 市町村との連携が図られる活動であること



### ◇ 公募した事業の内容と団体

#### 1 応募資格を有する団体

地域住民や NPO、商工団体等

#### 2 公募した事業の主な内容

- ① 住民意識の醸成、住民の思いや願いを実現するためのワークショップ、セミナーの開催
- ② 本格的な実施（国の社会実験等への応募も含む）に向けた実験
- ③ その他、協議により認められた事業



平成 18 年度の受託団体を 5 月に募集し、ヒアリング審査を経て、応募いただいた 15 団体の中から、下記 5 団体を決定しました。

### 平成 18 年度「いわてまちづくり支援事業」実施委託団体（順不同）

|       |                                                       |                                                             |                                                         |                                                                                       |                                                                                                           |
|-------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名   | 松園ニュータウン再生・活性化に関する調査事業                                | 地域通貨を活用した中津川の魅力づくりと街なか活性化                                   | 土沢中心市街地活性化ビジョンづくり連続セミナー及びワークショップ                        | はなまき観光客に優しい街づくり事業                                                                     | 芸術イルミネーションパーク整備事業                                                                                         |
| 委託団体名 | 生活支援サービス産業まちづくり研究会                                    | NPO 法人もりおか中津川の会                                             | 東和町土沢商店街連合会                                             | 観光客に優しい街づくりをする会 はなまき                                                                  | NPO 法人芸術工房                                                                                                |
| 対象地   | 盛岡市松園地区                                               | 盛岡市中津川流域                                                    | 花巻市東和町土沢商店街                                             | 花巻市全域                                                                                 | 北上市さくらホール                                                                                                 |
| 事業の目的 | ワークショップ、セミナーの開催を通じて、高齢化に伴う新たな生活ニーズに対応したサービス産業の可能性を探る。 | 中津川のボランティア活動参加者に対し、地域通貨を配布することで、中津川の魅力ある川づくりと、近隣商店街の活性化を図る。 | 連続セミナーとワークショップにより、今後の土沢商店街とそれを構成する個々の商店のビジョンを作成し、実行に移す。 | 花巻を訪れる観光客の利便性向上のため、観光サインの統一を目指し、公募形式でモデルを作製する。また、ホームページで観光客からの意見を募り、観光客に優しい街づくりを推進する。 | 11 月～12 月にさくらホールの庭を、イルミネーションで飾り、イルミネーションライブを行う。また、イルミネーションのデザイン決定のため、ワークショップを開催し、市民の力により芸術文化の薫るまちづくりを目指す。 |
| 事業の概要 | ワークショップ、セミナー、ニーズ把握のための調査                              | セミナー、ボランティア活動の企画、地域通貨の流通                                    | セミナー、ワークショップ                                            | オリエンツツーリング、セミナー、看板公募、ホームページ開設                                                         | ワークショップ、イルミネーションライブ                                                                                       |





## 公共工事コスト縮減対策の取組み状況

### 第2次行動計画(新行動計画)の目標を達成

昨今の厳しい財政事情の下で、限られた財源を有効に活用し、県民の快適で安全な生活環境の形成に資する社会資本の整備を着実に進めるため、本県では、「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画(第2次行動計画)」(平成13年10月)に基づき、コスト縮減対策に取り組んできました。

第2次行動計画では、平成17年度までに公共工事のコストを平成8年度の標準的な工事コストと比較して10%縮減することを目標としていました。

このほど、平成17年度の公共工事コスト縮減対策の実績をとりまとめた結果、コスト縮減率は11.1%(コスト縮減額：93億円)となり、平成17年度でのコスト縮減目標(縮減率10%)を達成しました。

平成18年度は、「公共工事コスト縮減対策岩手県第3次行動計画」(計画期間 H18～H22)に基づき、より一層公共工事のコスト縮減対策に努めます。

#### 記

#### 1 「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画(第2次行動計画)」の概要

(1)計画期間：平成13年度～平成17年度

(2)縮減目標：平成8年度の標準的な工事コストと比較して、平成17年度でのコスト縮減達成目標を縮減率10%とする。

(3)基本的視点

①工事コストの低減

②工事の時間的コストの低減

③ライフサイクルコストの低減

ライフサイクルコスト：構造物の計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる費用のこと。

④工事における社会的コストの低減

(リサイクルの推進、工事における環境負荷の低減、工事中の安全対策など)

⑤工事の効率性向上による長期的コストの低減

#### 2 平成17年度のコスト縮減実績について

|     |                | 農林水産部 | 県土整備部 | 計     |
|-----|----------------|-------|-------|-------|
| H17 | 対象工事費(億円) ①    | 239.3 | 504.0 | 743.3 |
|     | 縮減額(億円) ②      | 35.6  | 57.4  | 93.0  |
|     | 縮減率(%) ②/(①+②) | 13.0  | 10.2  | 11.1  |
| H16 | 縮減率(%)         | 12.5  | 8.6   | 9.8   |
| H15 | 縮減率(%)         | 7.6   | 7.3   | 7.4   |
| H14 | 縮減率(%)         | 6.8   | 6.0   | 6.3   |
| H13 | 縮減率(%)         | 7.0   | 6.0   | 6.4   |

※平成13～17年度における公共工事のコスト縮減対策の実績は、農林水産部と県土整備部が所管する工事を対象としている。



## 平成17年度のコスト縮減対策の主な事例

### 1 計画手法の見直し

- 交通量や農作業等の状況に応じて、農道の計画幅員を縮小し、工事費を縮減した。
- 周辺の他事業（ほ場整備と道路改良等）と連携して効率的に工事を進め、工事費を縮減した。
- 側溝、ガードレール等の既存施設を有効に利用できるよう計画を見直し、工事費を縮減した。
- 災害により倒壊した漁港構造物に藻場パネルを取り付け、漁場施設として有効に利用し、材料費を縮減した。
- 視距の改良や待避所の設置を効果的に組み合わせ、地域の実情に合った道路整備を行い、工事費を縮減した。

### 2 技術基準等の見直し

- パイプラインの埋設深さを浅くし、工事費を縮減した。
- 路盤構成、凍上防止工の見直しを行い、工事費を縮減した。
- 林道の技術基準の改正（カーブ拡幅量、ステップ幅の縮小）により土工量等を減らし、工事費を縮減した。
- 防波堤の堤体下面に摩擦増大マットを設置することにより、堤体の規模を縮小し、工事費を縮減した。
- 消波ブロック等に用いる生コンクリートの規格を改定し、ブロックの製作費を縮減した。

### 3 設計方法の見直し

- 農業農村整備において、岩手らしい整備手法・整備基準を定め、アスファルト舗装の摩耗層の廃止等により工事費の縮減を行った。
- 木製土留工等の木材利用工法を採用し、工事費を縮減した。
- 大型船の利用状況に応じて、岸壁・物揚場前面基礎部の洗掘防止対策を取り止め、工事費を縮減した。
- 橋の設計において、上部構造の軽量化を図り、工事費を縮減した。

### 4 技術開発

- 暗渠排水工に、疎水材（もみ殻等）の設置と排水管の埋設を同時に行うドレンレイヤー工法を採用し、施工の省力化を図り、工事費を縮減した。
- 軽量で組立てが容易な鋼製擁壁を採用し、施工の省力化を図り、工事費を縮減した。
- 歩車道境界ブロックと側溝蓋が一体となった製品を使用することにより、施工の省力化を図り、工事費を縮減した。
- 高エネルギー吸収型の落石防護工を採用することにより、落石防護施設の規模を縮小し、工事費を縮減した。

### 5 建設副産物対策

- 再生アスファルトや再生砕石を使用して、材料費を縮減した。
- 現場で発生した残土を近傍の工事へ有効利用し、運搬費等を縮減した。
- トンネル工事で発生した岩塊を、漁場施設の捨石材料として再利用し、材料費を縮減した。

### 6 ライフサイクルコストの低減

- 切土法面の法尻を丸太で覆い、植物の繁茂を抑制し、草刈り等の維持管理費を縮減した。
- 橋桁材に耐候性鋼材を使用し、塗り替え等の維持管理費を縮減した。

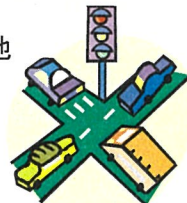


# 道路にはどんな種類があるの？

## ～道路の種類と維持管理～

A) 道路は、役割によって国道、県道、市町村道、農道、林道など様々な分けられます。これらの道路は、通勤・通学などの日常生活から農林水産業や観光、工業をはじめとする地域の振興に至るまで、毎日私たちの生活を支えています。

道路は、種類によって整備の目的が異なりますが、本県では、国道、県道、農道、林道の事業計画の策定などを一元的に行い、より効果的、効率的な整備と県民に分かりやすい道路行政を進めています。



### ①高速自動車国道 “高速道路”

高速自動車国道は、一般的に高速道路と呼ばれている道です。

自動車の高速交通を担う道路で、県内には東北縦貫自動車道、東北横断自動車道があります。



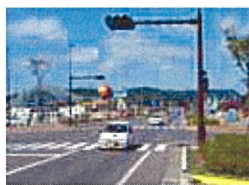
### ②一般国道 “全国の幹線道路”

一般国道は、県庁所在地や港湾など重要都市や施設を結ぶ道路です。

本県では、一般国道4号、45号、46号の3路線を国で管理し、それ以外の16路線は県で管理しています。



国道の標識例



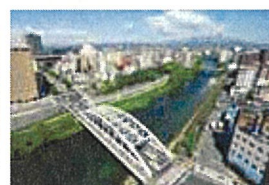
### ③県道 “地方の幹線道路”

県道には、主要地方道と一般県道があります。

県内の市町村や空港、港湾、駅、観光地などの重要な施設を結びます。県内には、247路線あります。



県道の標識例



### ④市町村道 “生活道路”

市町村道は、地域の生活に密着しており、日常生活を支える道路です。

国県道を相互に結んだり、学校や病院などの公共施設を結びます。県内には、52,130路線あります。



### ⑤農道 “農業道路”

農道は、農地などから生産される農畜産物を集出荷場や加工場、消費地へ効率的に輸送する道です。

また、農村地域間の交流促進など生活面でも欠かせない道になっています。



### ⑥林道 “林業道路”

林道は、木材の搬出、植林や間伐などの森林づくりを支える道です。

近年は二酸化炭素の吸収や水質浄化など、森林の持つ多様な効果を維持するためにも整備が求められています。



## ☆トピック☆ ～道路の維持管理ってなに？～

### □維持管理の必要性

道路は、路面の傷みにより穴ぼこが発生したり、落石や積雪などにより交通に支障が出ることがあります。そのため、道路を作った後にも安全で快適に利用していくためには、適切な「維持管理」が必要です。

県では、定期的に道路パトロールを実施し、路面補修、草刈、路面清掃、除雪などを行い、道路の状態を良好に保っています。

皆さんも道路に危険を見つけた場合には、道の相談室まで連絡をお願いします。

○道の相談室：0120-106-497（フリーダイヤル：道路、良くなれ！）



道路パトロール

## ☆次回予告

今回は、「道路特定財源ってなに？」と題し、道路の財源である道路特定財源について、分かりやすく紹介します。





## ＝ 募集しています ＝

## ○国土と交通に関する図画・作文の募集

人々の生き生きとした暮らしとこれを支える活力ある経済社会、日々の安全、美しく良好な環境、多様な地域を実現するためのハード・ソフトの基盤の形成を推進するため、7月16日を「国土交通 Day」と定め、様々な行事を行っています。「国土交通 Day」の行事の一環として、未来を担う小中学生の皆さんから、図画・作文を募集します。

## ■図画の部

- 対象 全国の小学生
- 題材 自由
- 用紙等 画用紙・・・四ッ切  
色材料・・・自由（油絵除く。）  
※標語をいれたポスターは対象外。

## ■作文の部

- 対象 全国の中学生
- 題材 自由
- 用紙等 B4版400字詰原稿用紙5枚以内

## ■表彰

図画・作文とも、優秀作品に対しては、国（国土交通大臣賞・国土交通事務次官賞・佳作）、県（知事賞・入選）が贈られます。

## ■提出期限

18年9月29日（金）必着

## ■送付先・問い合わせ先

岩手県 県土整備部 県土整備企画室  
「国土と交通に関する図画・作文」担当  
〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL:019-629-5846

## ○県営住宅への入居者を募集

9月は、平成18年度の県営住宅入居者募集の第3回目の募集期間となっています。

県営住宅の管理は、平成18年度から指定管理者制度を導入しました。指定管理者は、県に代わって県営住宅の申し込みなど管理全般を行います。

## ■募集期間

9月11日（月）～9月15日（金）

## ■問い合わせ先

財団法人岩手県建築住宅センター（指定管理者）  
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西口通 1-7-1 アイーナ2階  
TEL:0120-208-201 019-623-4414

## ＝ お知らせ ＝

○（仮称）中央大橋の新しい名前が決定  
橋の名称 杜の大橋（もりのおおはし）

3歳から92歳の方から287通の応募をいただきました。選考の結果、**杜の大橋**に決定。県都盛岡にふさわしい名称として、広く親しまれ、いつまでも愛される橋となることでしょう。

## ■入賞者

特賞 竹内冬美さん（一戸町）  
入賞 小幡安彦さん（盛岡市）  
中川千代美さん（盛岡市）  
廣山温さん（盛岡市）

## ■杜の大橋選定理由

緑豊かなイメージを醸し出すとともに、本橋が盛南地区の「杜の道」（シンボルロード）につながり、本橋を含む地区の一体性の強化に資するものであり、本橋の名称としてふさわしいものと評価された。

## ■問い合わせ先

盛岡地方振興局土木部  
TEL:019-629-6642・6643



## ＝ 参加してみませんか ＝

〇9月10日は「下水道の日」

下水道フェスタ' 06

『下水の終着駅をちょっとのぞいてみませんか?』  
をテーマに、普段見ることのない下水処理場の働きを、  
楽しいイベントとともに知ることができる催しです。  
子どもから大人まで、楽しんで、学べるフェスタです。  
ぜひ家族揃ってお出かけ下さい。

### ■日時・場所

9月9日(土) 10:00～

都南会場：都南浄化センター

〒020-0832 盛岡市東見前3-10-2

水沢会場：水沢浄化センター

〒023-0831 奥州市水沢区姉体町南新田下234

### ■主催

財団法人岩手県下水道公社

### ■内容

- ・ 下水処理場の見学
- ・ 水質測定や顕微鏡を使って微生物を観察する  
体験コーナー
- ・ 下水道をモチーフにしたパソコンゲーム
- ・ 「顕微鏡」などの豪華賞品がもらえる下水道ス  
タンプラリー

他、楽しいイベント盛りだくさん。来場者プレゼン  
トもあります。

### ■入場無料

### ■問い合わせ先

(財) 岩手県下水道公社県南支社都南出張所

TEL: 019-614-9170

(財) 岩手県下水道公社県南支社

TEL: 0197-67-5813

<http://www.isf.or.jp/festa/festa.htm>

## 豆知識「下水道の日」

「下水道の日」は、1961年(昭和36年)、著しく遅  
れている日本の下水道の全国的な普及(当時の普及  
率:6%)を図る必要があることから、このアピール  
を全国的に展開するため、当時の下水道を所管していた  
建設省(現在の国土交通省)、厚生省(現在は環境省に  
所管変更)などが協議して「全国下水道促進デー」とし  
て始めました。

また、9月10日と定められたのは、下水道の大きな  
役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズ  
ンである210日を過ぎた220日(立春から数えて)が適  
当であるとされたことによるものです。

2001年(平成13年)には、より親しみのある名称と  
して「下水道の日」に変更されています。

(参考: 国土交通省のHP)

〇9月20日は「空の日」

9月20日～30日は「空の旬間」

いわて花巻空港スカイフェスタ2006

アクロバット飛行や防災ヘリの救助デモンスト  
レーションなど、普段は見ることのできない空のお  
祭り。子どもから大人まで、楽しめるフェスタです。  
ぜひ家族揃ってお出かけ下さい。

### ■日時・場所

9月23日(土) 10:00～15:30

いわて花巻空港内特設会場

### ■主催

いわて花巻空港空の日記念事業運営委員会、岩手  
県空港利用促進協議会、花巻空港整備・利用促進協  
議会、日本航空インターナショナル盛岡支店

### ■内容

- ・ アクロバット飛行  
(ディーブ・ブルーズ 室屋義秀氏)
- ・ 防災ヘリのデモンストレーション
- ・ 遊覧飛行(有料)
- ・ 化学消防車との綱引き
- ・ 餅つき、振る舞い餅、屋台
- ・ バスで滑走路走行(有料)
- ・ 空の市(バザー)

他、楽しいイベント盛りだくさん



■ 入場無料

■ 問い合わせ先

いわて花巻空港空の日記念事業運営委員会事務局  
(花巻空港事務所) TEL: 0198-26-2016

〒025-0004 花巻市葛 3-183-1

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1512/sora/kaisai/newpage1.html>



昨年スカイフェスタの様子

豆知識「空の日」

「空の日」の起源は、昭和15年に制定された「航空日」が始まりです。

この年の「航空日」は9月28日に行われましたが、昭和16年の航空関係省庁間協議において9月20日と決定されました。第2次大戦終戦に伴う一時休止もありましたが、昭和28年に再開され、民間航空再開40周年にあたった平成4年に、国民の皆さんにとってより親しみやすいネーミングということで、それまでの「航空日」から「空の日」へ改称するとともに「空の旬間」(9月20日から30日)が設けられ、現在に至っています。

(参考: 国道交通省のHP)

＝ 発行物などの情報 ＝

○いわて出張所広報「いわて出張所通信第18号」

八幡平市(旧西根町、旧安代町、旧松尾村)・岩手町・葛巻町を管轄するいわて出張所通信を発行しました。

[http://www.pref.iwate.jp/~hp1307/tusin\(H18.9.1\).pdf](http://www.pref.iwate.jp/~hp1307/tusin(H18.9.1).pdf)

■ 問い合わせ先

盛岡地方振興局土木部岩手出張所

TEL: 0195-62-2888

＝ 土砂災害による通行規制情報 ＝

○県道219号 網張温泉線

大規模な土砂崩壊のため、「滝沢村鶴飼(相ノ沢キャンプ場)～雫石町長山(岩手高原)」間の3,940mが、8月18日から全面通行止めとなっています。

大きな岩や土砂が道をふさいでおり、当面の間通行できません。

お出かけの際は、道路情報をご確認ください。

<http://www.douro.com/kisei/01morioka.htm>

網張温泉などへ行く場合は、迂回路をご利用いただいています。



■ 問い合わせ先

盛岡地方振興局土木部 TEL: 019-629-6644



## 「道路ふれあい月間」を記念して様々な行事が展開

道路は、私たちの毎日の生活を支える欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

8月10日の「道の日」を契機に、「道路」の大切さをもう一度見直す様々な行事が、県内各地で行われました。

### 清掃・点検活動

#### ◇ 盛岡地方振興局

8月10日 振興局と県庁道路環境課職員計60名で、「道路をきれいにし隊」を結成し、管内の清掃活動を行いました。



#### ◇ 盛岡地方振興局岩手出張所

8月10日 出張所職員17名が国道281号と282号の清掃活動を行った他、建設業協会の有志約180名にも参加していただき、国道・県道の清掃活動を行い、トラック4台分のごみを収集しました。



#### ◇ 県南広域振興局花巻総合支局

8月9日 支局職員21名で、管内の国道・県道の歩道を歩き、点検活動や清掃活動を行いました。普段車で通るのとは違った目線で見ることができ、新たな発見もありました。



#### ◇ 県南広域振興局

8月4日 建設業協会水沢支部青年会と支局職員とで、管内の国道・県道の清掃活動を行いました。チェーン着脱所や待避所では、空き缶や雑誌などのごみが多く回収されました。





#### ◇ 県南広域振興局一関総合支局

8月10日 建設業協会一関支部、一関市、平泉町、支局職員の総勢 111 名で、「黄金ロードふれあい作戦」と銘打ち「平泉の文化遺産を世界遺産へ」ののぼりを立てて、管内の国道・県道・市道の清掃活動を行いました。



#### ◇ 久慈地方振興局

8月9日 建設業協会久慈支部青年部、県アスファルト合材協会久慈支部、宮城建設、久慈市、洋野町、野田村、普代村、振興局職員の総勢 102 名で、管内の国道・県道 25 km の清掃活動を行いました。



## 現場見学会

### 「杜の大橋」現場見学会

#### ◇ 盛岡地方振興局

盛岡市立本宮小学校 5 年生と 6 年生の児童 20 名が、平成 18 年末に開通予定の「杜の大橋」を見学しました。子どもたちは、振興局職員から、橋の長さや構造などについて説明を受けたり、橋についてのクイズにも挑戦。実際に動く工事車両にも体験乗車しました。

ヘルメットをかぶりながら、長さ 494m の橋を歩いて渡った子供たちは、工事関係者以外でははじめての通行者と聞き、特別な気分とうれしそうでした。



ヘルメット姿の子供たち



工事車両に体験乗車



二戸地方振興局では、8月10日の「道の日」関連行事として、道路清掃の他、毎年、街道・旧道を訪ねるイベントを行っています。様々な人や物が行き交った昔の道を歩くことによって現代の道の重要性を実感してみようというイベントです。

このイベントは、今年で10年目、もちろん地域の多くの参加者に支えられてきましたが、実は、イベントの準備から当日までの裏方となる実行委員会の協力体制も欠かせません。開催にあたっては、参加者募集の広報活動、事前のコース設定・草刈り・仮設トイレ設置などのコース整備、現地送迎、説明ガイドの配置、記念品配布など、県建設業協会二戸支部青年部・市町村・県・国の協働によるところが大きいのです。

10回目の今年度は、軽米町を開催地とし、「八戸街道の旧跡を訪ねる」と題して旧八戸街道の一部（猿越峠から観音林までの約3km）を歩きました。今回の参加者は、公募した小学生から高齢者までの一般住民71名と職員41名を合わせた112名の多数の参加者となりました。

当日は、気温が33度の猛暑になったこともあり、休憩地での冷たいスイカと麦茶の提供は、参加者から好評を得ていました。これからも地域の方々に支えられながら、このような事業を続けていきたいと思えます。

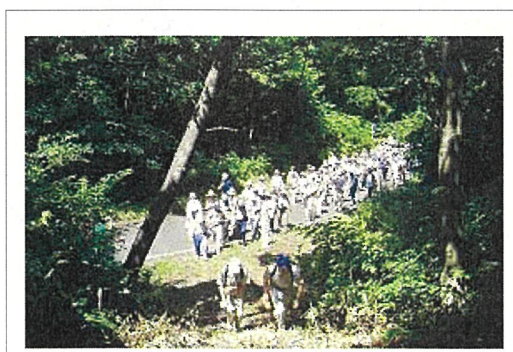


## 【役割分担】

|                         |                                                                  |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 岩手県建設業協会<br>二戸支部青年部     | コースの事前草刈り整備、仮設トイレの設置、スイカ・麦茶の提供                                   |
| 軽米町<br>(開催地)            | 開催コースの選定、街道・旧跡説明のガイドの手配、参加者募集のための広報紙掲載、現地送迎用のバスの手配、記念品の手配（ジュース等） |
| 二戸市、一戸町、九戸村             | 参加者募集のための広報紙掲載、現地送迎用のバスの手配                                       |
| 二戸地方振興局土木部              | 開催段取り、参加者募集のための広報、記念品の手配（タオル）、参加者の保険加入、記念写真の撮影                   |
| 国土交通省岩手国道事務所<br>二戸維持出張所 | 記念品の手配（ボールペン、うちわ）                                                |



さあ出発です



旧道に入っていきます

この他、遠野土木センター、千厩土木センター、大船渡地方振興局、釜石地方振興局、宮古地方振興局でも、記念イベントが開催されました。



# TOPICS

## 「胆沢川自然塾」で川に親しむ

8月5日～6日

県南広域振興局

胆江地方の子どもたちに身近な胆沢川での体験を通じて、川への関心を深めてもらうとともに、胆沢川を通じて地域に住む子どもたちの交流を深めてもらおうと「胆沢川自然塾」が開催されました。

この行事は、毎年開催されていますが、北上川倶楽部が中心となり、胆沢ダム工事事務所、県南広域振興局など官民7つの団体が構成する実行委員会が主催しています。

子どもたちは元気いっぱい。炎天下の中、テントを設営したり、金ヶ崎町西根の農業用ため池で水辺の観察やボート遊びをしたりと、夏を満喫していました。



### ■ 問い合わせ先

県南広域振興局土木部

TEL : 0197-22-2881

## 道路愛護団体等に対する感謝状贈呈式

8月30日

道路環境課

道路愛護思想の一層の普及を図るため、例年、道路月間である8月に、多年にわたり道路環境の美化保全等に努められた団体に対し感謝状の贈呈を行っています。

### ■ 国土交通省大臣表彰

◇東大野生活改善グループ（洋野町）

昭和61年から一般国道395号沿いにおいて、空き

缶拾いや花壇の整備等の道路美化・清掃活動を継続して実施しています。地域の美化活動をとおり、一般通行車両等へも快適な道路環境を提供しています。

20年にわたる道路愛護活動を通じて、地域への道路愛護意識の普及と快適な道路環境の保持に寄与しています。

◇盛岡大通商店街協同組合（盛岡市）

平成元年の盛岡大通商店街のアーケード設置とカラー歩道化を契機に、担当者を配置し、車椅子利用者や視覚障害者にとって歩行障害となっていた歩道上の無秩序な放置自転車の整理・指導や可搬式看板、幟旗等の撤去指導等に取り組んでいます。商店街において快適な歩行者空間の確保に尽力しています。



国土交通大臣表彰

### ■ 岩手県知事表彰

◇立花地区道路愛護会（北上市）

昭和52年から、立花地区の道路の維持管理と美化に努め、地域住民の生活への支障を防ぐとともに、道路愛護思想の高揚に努めるなど、小学生から老人まで地区民一体となった積極的な活動により、安全で円滑な道路交通の推進に貢献しています。特に同地区は、北上市立公園「展勝地」を有しており、同公園を訪れる観光客のため、これに通ずる県道の美化活動を重点的に実施しています。

◇綾織町地域づくり連絡協議会（遠野市）

昭和54年から、綾織地区の道路の維持管理と美化に努め、地域住民の生活への支障を防ぐとともに、道路愛護思想の高揚に努めるなど、子供から大人まで地区民一体となった積極的な活動により、安全で円滑な



道路交通の推進に貢献しています。特に、平成 10 年度から「花街道あやおり事業」として国道沿い約 8km にわたり、地域住民総出でマリーゴールド苗を植栽しています。5 万本に及ぶマリーゴールドは、開花時期の 4 ヶ月間、見事なフラワーロードを作り上げ、往来する人々の目を楽しませるとともに、快適な道路環境の保持に寄与しています。



岩手県知事表彰

#### ■ 問い合わせ先

道路環境課

Tel : 019-629-5876

### 平成 18 年度優秀災害復旧事業技術発表会

#### 最優秀賞を受賞

8 月 3 日

砂防災害課

社団法人全国防災協会主催の「平成 18 年度優秀災害復旧事業技術発表会」において、二戸振興局土木部蔵谷技師発表の「平成 16 年災 一級河川十文字川河川災害復旧事業」が最優秀賞を受賞しました。本県からは、このほか盛岡地方振興局土木部藤島主任より、「平成 16 年災 一級河川木賊川筋木賊地区河川災害復旧事業」が発表されました。

いずれも、復旧工法の選定にあたっては、関係機関との調整を図った上で、適切な周辺環境の把握、動植物に対しての配慮等を行った工法を積極的に採用したこと、施工後においても継続的な事後調査を行うことなどが、審査員より高い評価を受けました。

#### ■ 問い合わせ先

砂防災害課

Tel : 019-629-5921

#### 優秀災害復旧事業技術発表の概要から

- ◆ 課題 一級河川十文字川河川災害復旧事業
- ◆ テーマ 新工法等
- ◆ 目的・背景

平成 16 年 7 月 26 日～27 日の豪雨により河川が急激に増水し、河床洗掘及び側方侵食により土羽護岸が被災したものである。右岸は水衝部となっていて、河川の近くには民家があったが、樹木があったことで被害の拡大を防止することができた。

#### ◆ 具体的な成果

右岸は樹木（ヒバ、トドマツ等）により被害が拡大しなかったことから、樹木の多い右岸は樹木取組み施工可能なパネル枠工法、樹木の無い左岸はカゴマット工を復旧工法とした。

パネル枠工の特性は

- 流速 10 m/s 程度まで対応でき、衝撃力に強い。
- 中詰材により自重を確保した一体型構造物。
- 特殊な水質などの悪条件に耐えうる。
- 多様な形状に対応できる軽量パネル（4 kg/枚）。
- 自然な風景の創出が可能。パネル枠工は、現状地形に合わせ樹木の根張りに適した施工ができることから、既存樹木を残すことができ、自然環境に配慮することができた。

#### ◆ 今後の課題

25cm×50cm のパネルを組み立てる作業のため、据付や中詰材の施工に難しい部分があることから、今より大きな規格の製品化が望まれる。



# みんなの声

平成 18 年 6 月に、県土整備部に寄せられた県政提言への取り組み状況について掲載しました。

ご提言いただきありがとうございます。

## “みんなで創る” みんなの県土

これからも皆様の声を大切に、県土づくりを進めてまいります。

opinion/idea/proposal/recommendation

・ 県内・地元の住宅建築大工は、どの様に生き延びていくのか。産業界にとって、どの様な施策をしていくのか。

2006/6/13/電子メール

建設業界を取り巻く環境は、今後も厳しい状況が続くことが予想されることから、県では、平成 18 年 4 月に「建設業対策中期戦略プラン」を策定し、県が取組む支援制度や環境整備の方向性をとりまとめ、関係機関と連携して総合的な建設業対策に取り組むこととしました。

この支援の一環として、広域振興局等に「建設業総合相談センター」を設置していますので、相談していただきますようお願いします。

opinion/idea/proposal/recommendation

・ 一関市東山町田河津夏山、国道 343 号線、鳶ヶ森トンネル奥州市よりの道路脇斜面の土砂崩れで、片側通行で不便な状態なので早く整備してほしい。

2006/6/14/フリーダイヤル

御提言の箇所については、平成 18 年 4 月 14 日の夕方土砂崩れが発生し、片側交互通行を実施しており御不便をおかけしています。現地には、大規模な亀裂が発生し、斜面の土砂が継続して道路側へ移動しており、降雨の状況によっては、さらに土砂崩れが拡大する恐れがあることから、落石防護柵等を設置し通行の安全を確保しています。現在、復旧のための測量や設計等の工事の準備を進めており、引き続き、早期の片側通行の解除に向けて努めていきますので御理解をお願いします。

opinion/idea/proposal/recommendation

・ 東京で起きたエレベーター事故は人事ではない。県内で設置している場所を全て公表し、県レベルでの点検整備等厳しい指導を求める。

2006/6/14/文書

現段階では事故原因がまだ明らかになっておらず、シンドラ社製のエレベーター全てに問題があると判断できる状況にありません。県内には公表済の公的施設の他、民間施設のエレベーターも存在しています。これらの所有者からは、緊急点検の結果、異常がみられないとの報告を受けていますので、現時点で民間の施設名を公表する段階ではないと考えます。





・民間不動産は部屋を公開しているので、県営住宅も入居希望者に部屋を公開してはどうか。直接見せる事が出来ないなら部屋・トイレ・風呂場等の写真を参考までに見せてはどうか。

・県営住宅応募書類として、住民票・所得証明等を提出しなくてはならないが、有効期限は3ヶ月の為、再提出しなくてはならない。以前と同じ書類を、お金をかけて(900円)揃えるのはムダなので、変更がない場合は以前提出した書類を継続して使えないか。前にも提言をしたが再度検討してほしい。

2006/6/30/フリーダイヤル

県営住宅の部屋の事前公開については、募集期間中に部屋の修繕工事等を行っている為、個別の対応は難しい状況ですので、今後、部屋内部の写真について、事前に公開を行うよう検討します。

住民票及び所得証明書は、入居要件の厳正を期すため重要なものとなります。このため、住民票については、前回、回答(平成18年5月22日付け)しましたように他の行政機関を参考に3ヶ月として運用しています。所得証明書については、前年の所得(1月～5月は前々年中のもの)を証するものとしていますのでご理解願います。

なお、所得証明書は、7月から翌年の5月の募集では、同じ証明書を使用することが可能です。



・県予算の使い方について、ニュースで岩手競馬や北山トンネルのことが話題となっていたが、岩手県は貧乏県であり、予算は大切に使うべきだと思う。

遊びである競馬や、一部の人を利用するトンネルよりも、全県的な問題であるうつ病対策や自殺者問題に予算を掛けるべきではないか。

県北は、雪が多く楽しみも少ない。理由はそれだけではないと思うが、自殺者が多い状況にあるので、競馬場の公園を花壇などにして、人の心が癒される空間にして開放してはどうか。

2006/6/30/フリーダイヤル

北山トンネルは、現場の地質の状態が当初想定した以上に悪いことが判明したため、その対策に要する工事費を増額することとしたものですが、結果として、二度にわたる大幅な増額に至ったことについて、深く反省をしています。

今後は、地質調査等を更に入念に行い、より慎重に対応していきます。

